

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (13 1)

団体名	(特非)生涯学習サポート兵庫	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 山崎清治
事業名	学校に行きづらい子どものためのサードプレイス HYM事業			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
2025.4月	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ6名 (2名)	五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」 3回：お花見ハイキング、よもぎ餅作り、たんぼぼの種まきとたんぼぼコーヒー作り
2025.5月	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ5名 (2名)	五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」 3回：スパイスドライカレー作り、玉ねぎ染め、生き物探し
2025.6月	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ9名 (2名)	五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」 3回：竹の水鉄砲作り、ひとはくへ行こう、竹スライダー作りと流しそうめん
2025.7月	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ13名 (2名)	五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」 3回：竹竿作りと冷やしうどん作り、シャーベットとゼリー作り、川あそびとスイカ割り
2025.9月	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ12名 (4名)	五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」 3回：竹の水鉄砲作り、体育館あそび、ピザづくり
2025.10月	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ9名 (2名)	五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」 3回：動物痕跡探し、コスモス畑へ行こう、魔法の杖作りとかぼちゃのシチュー作り
2025.11月	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ12名 (3名)	五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」 3回：自然物で秘密基地作り、柿とかりんの収穫、ホイル焼きクッキング
2025.11月27日	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	1名 (1名)	ママたちのこもれびじかんMAMAnoMA プラ板アクセサリー作りとコーヒーを楽しむ日/ 講師 「やくらbox」才本藍子さん
2025.12月	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ17名 (5名)	五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」 2回：クリスマスリース作りとホットサンド作り、餅つきと陶芸
2025.12月19・20日	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	のべ12名 (2名)	ひとやすみpresents 「ママをやめてもいいですか!？」映画自主上映会
2026.2月27日	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL	1名 (3名)	ママたちのこもれびじかんMAMAnoMA 陶芸の日

< 効果と成果 >

本事業では、参加者アンケートを実施し、野外活動中心のプログラムに内容の見直ししました。その結果、「自然の発見がたくさんある」「世界が広がっている」「学校ではできないことができている」といった声が聞かれ、参加継続率の向上や、利用の向上につながっています。家庭と学校の間位置する「中間的な居場所」として、社会との接点をつなぐ役割を果たしています。体験活動を通じて自己表現の機会が増え、人との関わりへの不安が和らぐなど、段階的な意欲回復が見られています。また、学校関係者や行政との対話の機会も生まれ、学校外の居場所が教育的意義を持つ支援として理解されつつあります。

さらに、月1回開催している保護者向けプログラム「MAMAnoMA」では、子どもと離れて自分の時間を持つ機会を提供しています。参加した保護者からは「新しい学びや視点を得られた」「自分の好きなことに向き合えた」といった声があり、心理的負担の軽減や孤立予防につながっています。新しい体験への挑戦を通じて、保護者自身の自己効力感の回復も見られます。本事業は、子どもへの直接支援に加え、保護者のレスパイト機能を併せ持つことで、家庭全体を支える包括的な居場所支援として機能しています。単なる場所の提供ではなく、親子双方の安心と回復を支える取り組みとして、社会的意義のある成果が生まれています。

<今後の展望>

本事業は一定の成果が見られる一方で、安定的な運営に向けた資金確保が引き続き課題となっています。特に、体験活動の充実や安全管理体制の維持には継続的な資源が必要であり、活動の質を保ちながら安定的に提供していくための基盤整備が求められています。特に、学校に行きづらさを抱える子どもたちは、家庭外で安心して挑戦できる体験機会が不足している現状があります。成功体験や他者との穏やかな関わりを重ねる場があることで、自己肯定感や社会参加への意欲が育まれていきます。今後は、自然体験や創作活動、少人数での共同活動など、小さな一歩を積み重ねられる環境を充実させていきたいと考えています。

また、三田市教育委員会や子ども・未来部子ども家庭課など、これまで築いてきた連携関係を継続させ、定期的な情報共有や支援方針の確認を行いながら、地域全体で子どもを支える仕組みづくりを進めてまいります。行政との協働を通じて、支援が届きにくい家庭へアプローチし、学校外支援の社会的認知の拡大にも取り組みます。

さらに、保護者支援の側面では、「MAMAnoMA」をはじめとしたレスパイト機能を継続・発展させることで、家庭全体の安定を支えていきます。より多くの子どもと家庭に安心と回復の機会を届けられる体制を整えていきたいと考えています。

<収支決算書>

(収入)

項目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金等	125,188
合計	625,188

(支出)

区分	項目	金額(円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	378,000	292,000
	旅費交通費	8,160	8,160
	謝金	54,000	47,000
	その他(賃借料等)	115,459	83,271
	小計	555,619	430,431
間接経費(一般管理費)		69,569	69,569
合計		625,188	500,000